

水原郷病院の公設民営化

指定管理者制度（公設民営）による

水原郷病院がスタートしました



新生水原郷病院移行式 テープカット

水原郷病院は、10月1日から公設民営化されました。

水原郷病院はこれまで非常に厳しい経営状況にありましたが、経営主体を市から新潟県厚生農業協同組合連合会（新潟厚生連）に変更し、経営改善と医療サービスの向上を図り、これからも継続して医療を提供してまいります。

阿賀野市は、市民の皆さまが安心して暮せるよう、病院を存続します。

公設民営化移行式 挙行

10月1日午前8時から初日の診療に先立ち、正面玄関前で水原郷病院指定管理者制度（公設民営化）移行式が執り行われま

した。
新潟県知事代理、地元選出県議会議員をはじめ多くのご来賓をお迎えしての新生水原郷病院の出発となりました。



佐藤副市長（左）から末武理事長（右）へマスターキーの引継ぎ

これまでの診療体制を継続します

経営主体が変わっても、これまでと同様の医療・介護サービスの提供体制を維持します。外来診療・入院診療ともに診療科目の変更はありません。

また、介護療養型医療施設・老人保健施設五頭の里・訪問看護ステーションにおける介護サービスや健康管理センターでの人間ドック・各種検診等も従来どおり受けることができます。

今後、医療提供体制を充実させます

指定管理者である新潟厚生連は、今後順次医師の充足を図り診療機能の向上を図るとしています。

また、市民の願いでもある救急医療についても可能な限り早期の救急告示病院の指定復活を目指すものとしています。

阿賀野市も市民の皆さまによりよい医療を受けてもらうため、早期の新病院建設を目指します。

市民説明会を開催

公設民営化実施に先立ち、9月17日と19日の2日間、水原保健センターで公設民営化後の診療体制等について、説明会を行いました。

両日合わせて約70人の参加がありました。

問い合わせ

企画政策課
病院事業管理室
☎ 61・2483（直通）